

OTAKE Rieko

Me, Here

2025

第31回平櫛田中賞受賞記念展
大竹利絵子

いのこのこの

4月25日(金) - 6月15日(日)

開館時間 午前9時 - 午後5時 (入館は午後4時半まで) ※初日は開館式開催のため10時から一般公開
休館日 月曜日(ただし5月5日(祝)は開館 5月7日(祝)は振替休館)
観覧料 一般1000(800)円 / 高校生以下、市内65歳以上無料 ※()内は15名以上の団体料金



大竹利絵子

いるのこの

平櫛田中賞は、平櫛田中（1872-1979）が数え百歳の時に若い彫刻家を育成するため自ら設けた賞で、これまで優れた彫刻家に贈られ、今回で 31 回目を迎えます。
大竹利絵子（1978-）は神奈川県横浜市出身で、東京藝術大学、同大学院で彫刻を学び、現在は同大学で准教授を務める一方、個展・グループ展を精力的に行い、作品を発表しています。

木彫を基本として独自の世界を探求しており、女性や少年少女、人間に鳥や猫などの動物を組み合わせ具象的に表現しています。大きい作品では 2m を超えるものがあります。大作でありながらダイナミックな表現とは相對するものであり、内側を見つめるように、静かにたたずむ彫刻を制作してきました。
少年少女など人間を彫っているけれどもどこか人間らしくない、異世界の雰圍気を感じさせます。表情は抑制され、見る人が自身を投影できることに重きを置いています。
作家にとって彫刻作品を制作することは、最終形を想定していながらも、同時にかたちを探していく行為であり、時間をかけて木と向き合い、身体性によって得られる手がかりを反映させながら全体のバランスをとらえ作品を完成させていきます。
今回は大竹にとって美術館での初めての個展になります。作家自選の作品で構成し、初期から最新作まで、版画を含めて約 45 点を展示します。作品の背景をたどりながら、大竹の芸術をご紹介します。

交通

- ・井原線 井原駅より徒歩約 15 分
- ・岡山駅から JR 伯備線（清音駅乗り換え）井原鉄道で井原駅下車 所要時間約 60 分
- ・福山駅から JR 福塩線（神辺駅乗り換え）井原鉄道で井原駅下車 所要時間約 35-50 分
- ・JR 笠岡駅前より井笠バスカンパニー井原行 駅前通り下車 徒歩約 5 分
- ・山陽自動車道 笠岡 IC より約 20 分



関連イベント

大竹利絵子 申込不要・要入館料
アーティストトーク
日 時：4 / 25 ㊤ 10:45 ~ 11:45
会 場：特別展示室

対談 要申込・聴講無料
日 時：5 / 17 ㊤ 14:30 ~ 16:00
登壇者：大竹利絵子（彫刻家）
水沢 勉（美術評論家・第 31 回平櫛田中賞選考委員会委員長）
会 場：美術館講習室
定 員：48 名
申 込：4 / 18 ㊤ ~ 5 / 17 ㊤ 受付
先着順
電話、メールにてお申し込みください。

大竹利絵子 要申込・要参加費
ワークショップ
「植物のレリーフを彫ってみよう」
ホオの板材（16.5×12.5 cm）でレリーフを制作します。
彫りたい植物の図案を彫刻刀で彫った後、
水彩絵の具で色をつけます
日 時：5 / 18 ㊤ 9:30 ~ 16:00
会 場：美術館講習室
定 員：10 名（中学生以上の方）
参加費：2,500 円（材料費を含む。入館料別途）
申 込：4 / 18 ㊤ から受付
先着順
電話、メールにてお申し込みください。

学芸員による 申込不要・要入館料
ギャラリートーク
日 時：5 / 3 ㊤・10 ㊤、25 ㊤、6 / 7 ㊤
13:30 ~ 14:00



左から
①《Sisters》2021 h 124.1×w 58.0×d 36.5 cm wood (Camphor Tree / 樟) 個人蔵
②《ユメムシ Yumemushi》2002 h 85.0×w 25.0×d 20.0 cm wood (Machilus / 樟) 作家蔵
③《つもる Accumulation》2022 h 78.0×w 34.8×d 30.2 cm wood (Camphor Tree / 樟) 個人蔵
④《Tears》2021 h 40.5×w 56.5×d 16.2 cm wood (Japanese White Bark Magnolia / 朴) 株式会社 北条工務店蔵

主催：井原市立平櫛田中美術館／共催：山陽新聞社／後援：中国新聞備後本社・朝日新聞岡山総局・毎日新聞岡山支局・読売新聞岡山支局・KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送・RSK山陽放送・TSCテレビせとうち・エフエムふくやま・岡山県郷土文化財団・井原市文化協会・井原放送・井原鉄道

